

(第三種郵便物認可)

兵庫県代協(塩谷広志会長)は、7月2日午後1時から豊岡市城崎町にあるハチゴロウの戸島湿地周辺で、7回目となる環境保護活動を実施した。当日は、保険会社社員4名を含む20名が参加。神戸支部から2名の会員が初参加となった。

コウノトリ生息域の環境保護

兵庫県代協がCSR活動

六甲グリーンボランティア



田山川下流域の湿地整備を実施(7月2日)

湿地を守るためには、湿地を取り巻く様々な環境の保護に努めなければならぬ。今回は、湿地の淡水域南側の水路沿いに大量に群生していたガマや葦を刈り取る作業など、水路の整備を実施。当日は厳しい暑さの中、会員らは熱心な作業を行った。

この取り組みには、地域住民をはじめ豊岡市環境課からも注目されている。次回11月26日に予定している日高町での新しい湿地づくり・整備には、現地の住民らとのコラボレーションも決まっており、豊岡市から活動への助成金が出ることになっている。

また、7月10日には、神戸市東灘区の住吉川上流でグリーンボランティアを開催。21年前の阪神・淡路大震災の影響で、六甲山系では山の斜面が崩れたり、地割れが起きたりという被害がいたるところで起こり、その数は1000か所以上にも上る。地震によって



六甲山系で下草刈り作業(7月10日)

ゆるんだ地盤は、大雨などによる土砂災害の危険性がある。六甲山系を一連の樹林帯(グリーンベルト)として守り育て、土砂災害に対する安全性を高めるとともに、緑豊かな都市環境、景観などをつくり出すため六甲山系グリーンベルト整備事業が開始された。

兵庫県代協も、兵庫県勤労者山岳連盟とともに植樹活動を行うほか、その植樹を守るため、原則毎年6月と10月に、会員が継続して下草刈りを行っている。当日は、午前10時から約2時間、草刈り機を使って、春に植樹した苗木のまわりを中心に、下草刈り作業を実施した。